

Oguchi Shakyo

2017
4
月号

おおぐち社協だより 年4回発行(4月・7月・10月・1月)第98号

子どもたちの笑顔に支えられて!10年元気にがんばっています!



CONTENTS

- ② ★法人設立30周年記念事業
- ③ ★おもちゃ病院おおぐち
- ④ ★支え合いの心を育てる福祉教育
- ⑤ ★平成28年度 福祉体験作文コンクール 入選作品
- ⑥ ★赤い羽根共同募金
- ⑦ ★おせち料理配布事業★米寿のお祝い
★障がい者スポーツ大会★善意だより
- ⑧ ★町内福祉関係団体のご紹介
- ⑩ ★ボランティア情報局
- ⑫ ★大口子育て情報ぎゅっと
- ⑬ ★介護豆知識
- ⑭ ★外坪区ふれあいサロン『ほっこり』4周年迎える
★『オレンジカフェ・大口』2周年
★『傾聴サロン笑桜会』4周年
- ⑮ ★東日本大震災から6年 大口絆つなくネットパネル展
★北地域自治組織『福祉の集い』
★『れんげそう』開催100回超える
★新サロン『忘れな草の会』
- ⑯ ★心配ごと相談所開設日程
★自動車・車いす等貸出サービス

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月~金(土日祝・年末年始休) 8:30~17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



特集 おもちゃ病院おおぐち

おもちゃ修理のボランティア 開院10周年



やったー！
動かなくなったおもちゃが、
また動くようになったよ！



「子どもたちの笑顔が、ドクターのお給料です！」



おもちゃ病院おおぐちの代表
服部 恵一さん

平成19年4月、社会福祉協議会主催の「おもちゃ病院ドクター養成講座」の受講者によって、大口町初のおもちゃ病院が誕生しました。

こわれたおもちゃを治療(修理)して再び遊べるようにするのが、おもちゃ病院。使い捨ての文化をやめて、「物を大切にすること」「思いやり」を子どもたちに伝えたいという思いで、無償のボランティアドクターが活躍しています。

定期開院日のほか、ふれあいまつりのブースでも受付し、平成29年春までの10年間で、延べ830件の治療を行ってきました。

ロボットやラジコンなどの動くおもちゃ、キーボードなど音の出るおもちゃの依頼品も多く、接触不良や配線をなおしたり、こわれた金属部品を手作りしたりすることもあります。

「タメもとで持ち込まれたおもちゃが動くようになったときの、子どもたちの笑顔！ありがとうと言われることが、何よりうれしです。」と代表の服部さん。

子どもたちの笑顔を支えられて！元気ががんばるドクターたちを社協は応援します。

- 開院日** 毎月第2土曜日 10:00~12:00
- 場所** 健康文化センター2階
- 修理代** 原則無料。ただし、300円以下の部品交換が発生した場合は、部品代をいただくこともあります。300円を超えた場合は、依頼主と相談の上、治療を行います。
- 注意点** 症状によっては、入院(預かり)もあります。完治しない場合もありますので、ご了承ください。
- 受付できないおもちゃ** ゲーム機(DS、PSP など)、弾丸が出るおもちゃ、アンティーク(ブリキ製など)、メーカーの製品補償期間中のおもちゃなど

スタッフ募集中



おもちゃ修理の経験やはいりません。一緒に活動しませんか？興味のある方は、開院時にスタッフに声をかけてください。

現在活動中のスタッフ9名は、「物を組み立てたり修理したりすることが好き!」という方もいれば、「子どもたちに喜んでほしい」など、いろいろな思いでドクターをしています。

こわれた!動かない!ここまじや捨てられちゃう...おもちゃが元気になるまで



わたしのおもちゃ、
なるかな?

どこが悪いのかな?

10年分、830件の
カルテ整理は、
女性ドクターが担当!

電気系統の不具合かな...
よし分解してみよう!

受付・カルテ作成

お客さんが病院へおもちゃを持ち込みます。ドクターがカルテ(治療記録カード)を記入。「今回は1カ月入院ですわ。」

診断・治療(修理)

ドクターたちが相談しながら、こわれたところを診断し、治療を開始。手術(分解)することも多いです。修理コーナーは、職人さんの工房のような雰囲気!



分解手術中!

カルテ整理・退院準備

治療の入退院の記録は、すべてカルテで管理しています。治療が終わったら、治療内容を記録して、お客さんに連絡して退院・受渡しをします。



社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 法人設立30周年記念事業



西川ヘレンさん(西川きよし夫人)

西川ヘレンさん 講演会

テーマ

『西川ヘレンの人生ドラマ
大家族—支え愛、語り愛、励まし愛—』

7月1日(土)
15:00~16:30
大口町民会館 2階大ホール

入場無料

※ただし、事前に配布する入場整理券が必要となります。
当日整理券はありません。
入場整理券の事前配布については、「広報おおぐち6月号」に掲載します。
詳しくは、社会福祉協議会までお問合せください。

お問合せ先

大口町社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0059

町民の皆様に支えられ、おかげさまで30周年。



7月1日は、大口町社会福祉協議会の設立記念日です。法人設立30周年を記念事業として、第1部は大口町と社会福祉協議会が共催する大口町表彰式、第2部は町民の皆様への日頃の感謝を込めて、西川ヘレンさんの講演会を開催します。

表彰式の後、引き続き講演会となります。大ホールへのご入場は、入場整理券が必要となりますのでご了承ください。

法人設立30周年記念事業 スケジュール

- 13:00~ 入場受付開始
- 13:30~ **第1部** 大口町表彰式
- 15:00~ **第2部** 西川ヘレンさん講演会

支え合いの心を育てる

福祉教育(福祉実践教室 後期)

大口西小学校6年生

年間を通して、総合的な学習の時間に「福祉」をテーマとした学習を行っている西小6年生。

前期の「点字・防災教室」に引き続き、後期は、車いす体験、高齢者疑似体験、視覚障がい者ガイドヘルプ、盲導犬教室の合計7科目を実施しました。

そして、福祉について調べたり体験したりしたことを発表する場があるのが西小の特徴。1月の「西小発表会」では、子どもたちが講師役となり、7つのブースに分かれてクイズや体験を交えながら発表。手話をまじえた合唱も披露し、盛大な拍手が送られました。

大口北小学校3年生

北小3年生は、2学期の総合的な学習の時間に、福祉を学んでいます。

10月、手話・高齢者疑似体験・車いす体験・盲導犬教室の4科目を実施。3年生ならではの素直な心で、積極的に取り組む様子が見られました。

「耳が聞こえない人に伝わってうれしかった。」「おばあちゃんになった気もちや、車いすをつかう人のたいへんさがわかった。」など、人を思いやることの喜びや大切さが心に残ったようです。



車いすユーザーの伊藤先生とさくら総合病院の理学療法士の先生が、体育館の段差を使って、車いす介助の方法を指導(西小)



社協が派遣したボランティア講師が、高齢者疑似体験と視覚障がい者ガイドヘルプを指導(西小)



車いすを自分で動かす体験。思い通りに動かせるかな?(北小)



覚えたばかりの手話で「おはよう」「こんにちは」のあいさつ(北小)

育て、支え合いのこころ



平成28年度福祉体験作文コンクール 入選作品

やさしくなったよわたしの心

大口町立大口北小学校三年

しもやまの
下山 玲乃



入選してうれしいです。元気になってから、学校で車いすの体験をしました。病気で乗っていたときと全然ちがって、楽だと思いました。

病気はつらかったけど、車いすに乗っている人の大変さがわかりました。



この夏わたしはずいまくえんというびょう気で三週間入いんしました。ねつが四十度をこえて頭がいたくてねてばかりでした。ごはんもおき上がることができなくて食べられませんでした。とてもつらいのにさいけつやレントゲンをとり、入いんしている五かいから二かいまでい動しなければいけません。おき上がれないから生まれてはじめて車いすにのるようになりました。たぶん元気なわたしなら気がつかないだんさも、車いすだとすごく高い石にぶつかっているように感じました。車いすのい動の時はずごく遠くかんじたけどたいいんする時、五かいから一かいまであつという間でびつくりしました。車いすにすわっていても頭がいたくてそのまますぐベッドでねむりたかったです。車いすだからわたしと同じ子どもも大人みたいに大きい人に見えてこわかったです。

「れのちゃんもうすぐだからがんばってね。」

と、かんごしさんがすわってわたしの目の前で話をしてくれました。つらかったけど、少し元気になりました。お母さんが、「目の高さを合わせて話すことは相手の心の高さと同じだね。」

といっていました。さいしょは意味がわからなかったけどわかりました。わたしも車いすの人と話をするときには目の高さを合わせたり、だんさに気をつけて車いすをおそうと思いました。

びょういんに入いんしているといういろいろなびょう気の人を見ました。

ほうたいだらけの人、歩けない人、目がかた方しか見えない人。たいいんして学校に毎日通えることや、お家でおいしいごはんを食べたり友だちと遊んだりすることが、とてもしあわせなんだと思いました。

びょういんの前にあるバスでい松葉づえをついている人がまっついでました。のる時足が上がらなくて後ろの人が手つだっていました。わたしも同じことがあつたら手つだつてあげたいと思います。入いんする前だつたら知らんぷりしてしまつけど今は、ぜつたいにゆう気をだしたいです。

たいいんしてからお父さんと電車についで出かけました。わたしがすわっている近くにおばあさんがついできました。わたしはすぐ立つて「どうぞ。」

といいました。おばあさんは、「ありがとう。えらいね。」

といつてすわりました。あたりまえのことをしたのにほめられて、少しはすかしくてうれしくてなみだがでそうになりました。車いすにのつている人、耳が聞こえない人や元気に学校や会社にいけない人みんなが、たすけ合つたりやさしい言葉をかけたりして、かける人もかけられる人みんなの心が温かくなつたらいいなと思いました。

平成28年度福祉体験作文コンクール

児童・生徒が体験したことを通して、感じたことや考えたことを素直な気持ちで作文に表し、ともに生きる福祉の心を育てることを目的とした愛知県社会福祉協議会主催のコンクール。県内の小・中・高等学校383校740編の作品の中から、25編が入選作品として表彰されました。



ひとり暮らしの高齢者・高齢者世帯の方へ
おせち料理配布事業

大口社協では、赤い羽根共同募金を活用し、民生委員さんのご協力により、ひとり暮らしの高齢者の方等へおせち料理をお届けしています。

担当地区の民生委員さんが事前に対象世帯からの申込みを受け付け、12月30日に年末の見守りを兼ねて、おせち料理をご自宅までお届けしました。

(※)対象世帯は、大口町内在住の80歳以上の単身世帯、または80歳以上の方のみで構成された世帯です。

お知らせ

平成29年4月から社協の敬老事業が変わります
米寿のお祝いをお届け



これまで、社協では赤い羽根共同募金を活用して、毎年9月に行われる町の敬老事業に合わせて、対象者の方にお祝いをお届けしてきました。

平成29年4月からは、米寿を迎えられる在宅の方を対象として、社協職員がご自宅へ伺い、お祝いの品とメッセージカードをお届けします。米寿の方は、どうぞお楽しみに!

募集

障がいをお持ちの方とご家族の参加者募集
障がい者スポーツ大会



- 日 時 平成29年6月3日(土)
午前9時30分受付開始
午前10時開始(終了予定は午後2時)
- 場 所 大口町中央公民館
- 参加要件 「身体障害者手帳」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方及びそのご家族の方
- 申込み先 大口町社会福祉協議会 94-0060
障がい者スポーツ大会には、赤い羽根共同募金が活用されています。



大口町更生保護女性会様による歳末たすけあい街頭募金(平成28年12月23日 ヨシヅヤ大口店様)



じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金



募金総額 3,549,636円

●赤い羽根共同募金

区分	件数	金額(円)
戸別募金	5,041	2,460,280
街頭募金	5	90,212
法人募金	4	60,000
職域募金	31	472,389
自動販売機	2	319,901
その他募金	-	10,225
合計	5,083	3,413,007

●歳末たすけあい募金

区分	件数	金額(円)
街頭募金	3	75,964
職域募金	17	40,484
その他募金	3	20,181
合計	23	136,629

(最終実績報告 平成29年1月31日現在)

◆◆◆御礼◆◆◆

平成28年度の赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金について、町民の皆様、企業・法人様のあたたかいご支援とご協力により、多大な成果を上げることができました。心より御礼申し上げます。

お寄せいただきました募金は、大口町の地域福祉推進の貴重な財源として、有効に活用させていただきます。

今後とも共同募金へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会
会長 水野 多三男

PICK UP 募金機能付き自動販売機からの募金

飲料の通常購入価格の一部が募金となる自動販売機で、年間を通して気軽に募金いただくことができます。健康文化センターほほえみプラザ1階と、大口一期一会の2か所に設置されています。



善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。また、大口町共同募金委員会が社協窓口で募集した災害義援金についても、あわせてご報告します。

●平成28年度災害義援金 送金実績報告

順不同(平成28年4月15日～平成29年2月28日取扱い分)

義援金名称	金額(円)
平成28年熊本地震義援金	734,531円
平成28年熊本地震義援金	300,000円
平成28年8月20日からの大雨(台風9・10・11号等)災害義援金	2,450円
平成28年熊本地震義援金	32,694円
平成28年熊本地震義援金	19,502円
岩手県台風10号大雨等災害義援金	4,590円
平成28年熊本地震義援金	4,590円
鳥取県中部地震義援金	4,590円
合計	1,102,947円



大口町老人クラブ連合会 様

●寄付・寄贈

順不同(平成28年12月16日～平成29年2月28日取扱い分)

大口町老人クラブ連合会 様	13,000円
ダンスサークル大口 吉川 弘雄 様	36,000円
大口町建設協力会 様	100,000円
河北太極拳同好会 様	19,094円
三浦 京子 様	10,000円
加納 ちよ 様	5,762円
匿名希望	10,000円
匿名希望	未使用品紙おむつ 1袋

**歳末たすけあい募金にご協力いただいた皆様
ありがとうございました(敬称略)**

町民の皆様

アピタ大口店、ヨシヅヤ大口店、パロースーパーマーケット大口店、ホームセンターパロー大口店、(福)愛生福祉会 特別養護老人ホーム御桜乃里、(福)一期一会福祉会 大口一期一会荘、(社)尾北医師会、大口郵便局、大口南郵便局、JA愛知北大口支店、大口町役場、NPO法人憩いの四季、喫茶ほほえみ、(社)大口町コミュニティ・ワークセンター、喫茶ほほえみ、大口町民生委員・児童委員協議会、大口町更生保護女性会



(会員数は平成29年2月28日現在のデータ。各団体に関するお問い合わせ・入会希望等は、大口社協 94-0060まで)

町内福祉関係団体のご紹介

大口町心身障害児(者)親の会 会員数 42名



大口町心身障害児(者)親の会は、昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がい」をもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実を求めようと、仲間の親たち呼びかけて発足しました。大口町内在住・大口町内の事業所を利用して、心身障害児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。

発足時は12名だった会員は、現在42名。健康文化センター1階の「喫茶ほほえみ」を活動拠点として、心身障害児(者)の福祉増進と会員相互の親睦・連絡調整等を中心に活動しています。



「親の会」クリスマス会の様子(健康文化センター4階ほほえみホール)

また、近隣市町の「親の会」と交流をはかり、研修や情報交換を行いながら、会員の資質向上に努めています。

「親の会」主催クリスマス会

12月4日、健康文化センターほほえみホールで、クリスマス会を開催しました。日頃親の会を温かく見守り支えてくださった副町長をはじめ、町議員、町職員、丹羽ライオンズクラブ、民生委員・児童委員、ボランティアの皆様をお招きし、総勢17名が参加しました。

今年の出し物は、扶桑町のコロナックルさんによる読み聞かせで、昔話

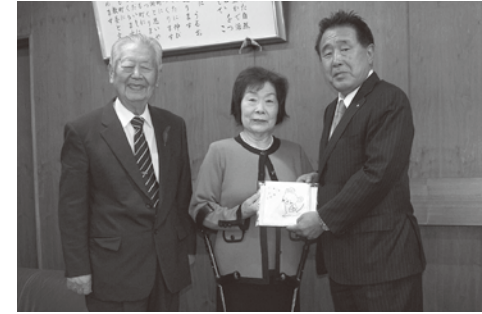
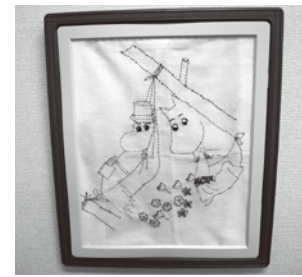
の「へこきよめさ」を披露しました。

読み手が登場人物になりきり、立体的な人形も使った読み聞かせは、迫力満点。何でも吹き飛ばしてしまうよめさの昔話に、会場は大きな笑いの渦がわき起こりました。

副町長と丹羽ライオンズクラブ会長がサンタコースになりきり、親の会参加者にプレゼントが手渡され、みんなに「こー」と喜ぶ声が聞かれました。



大口町身体障害者福祉協会 H28年度会員数 50名



交通安全グッズを町長へ手渡す佐藤会長と女性部山田代表



交通安全大使のダッシュマンと一緒に、交通安全キャンペーン(パロ-大口店)

女性部交通安全グッズを町へ贈呈

身体の不自由さを知る当事者だからこそ、皆に身体を大切にしたい、交通事故がなくなつて欲しい、という願いを込めて…

平成28年度のグッズは、一針一針刺しゅうを縫い上げたハンカチーフ。半年をかけて450枚を準備しました。



大口町身体障害者福祉協会は、大口町の身体障がい者の福祉向上や文化活動の支援、スポーツ活動の振興を目的として、昭和33年に創設された、当事者の団体です。

会員は定期的につごい、季節の行事、研修会、講演会、近隣市町の身障協会との交流等を行っています。

また、女性部は毎年、自分たちができる社会貢献活動として、交通安全グッズをひとつひとつ手作りして、町へ贈呈。

毎年11月、警察署の交通安全キャンペーンとして、町内スーパーで来店者へグッズを配布しながら交通安全を呼びかける活動を続けています。

大口しらゆり会 会員数 4名

大口しらゆり会は、こころの病をもつ人の家族会。

平成23年、尾北しらゆり会の大口支部として発足し、平成28年4月より各支部が独立した家族会となったため、名称を「大口しらゆり会」に改めました。

毎月(2月・8月を除く)第1土曜日、午前10時から健康文化センター2階のボランティア室で例会を実施。こころの病をもつ人の家族どうしが、同じような悩みや将来について本音で語り合い、情報交換をしながら、支え合う活動を行っています。



大口しらゆり会会員とボランティアさくらんぼ

また、ボランティア「さくらんぼ」と力を合わせ、「フリースペースれんげそ」の運営も行っています。

大口町母子寡婦福祉会 会員数 36名

大口町母子寡婦福祉会は、母子家庭及び寡婦の福祉向上を目的とした団体です。

戦後まもなく、母子福祉会として戦後遺児のための支援を行う団体として全国に広まり、のちに配偶者に先立たれた寡婦の支援も行う母子寡婦福祉会となりました。

会では、会員相互の親睦、生活意欲の向上を図るための活動を行っています。



・母子家庭の生活相談
・クリスマス贈物配布事業
・入学・進学祝品配布事業
・会員の交流と親睦をはかる
・目的の日帰り旅行、研修会等

大口町遺族会 H28年度会員数 179名

遺族会は、太平洋戦争において戦地等で亡くなられた戦没者遺族の全国組織として、昭和22年に創設されました。主に、戦没者の慰霊、遺族の福祉の増進、生活相談等の事業を行っています。

大口町遺族会では、全国戦没者追悼式、愛知県護国神社等の参拝、大口町平和祈念事業における慰霊祭等に出席しています。

また、平和の尊さ・命の尊さを次世代に伝承することを目的に、毎年、大口中学校2年生を対象とした「平和学習会」



大口中学校平和学習会「語り部の会」(町民会館)

に講師を派遣しています。

平成28年度は、遺族会会員が戦争の語り部となり、戦争の悲惨さや遺族の思いを中学生に伝える「語り部の会」を開催しました。

障がい者スポーツを楽しむ「ム〜の会」

「親の会」では、毎月第2日曜日、扶桑町の「父母の会」と合同で、「ム〜の会」という障がい者スポーツを楽しむ会を行っています。

場所は、扶桑町体育館トレーニング室。村田スポーツ指導員のもと、ボッチャ、フライングディスクなどの投げ方やルールを覚え、障がいのある人たちは生懸命に練習を重ね、徐々に上達しています。



とその親チームが、フライングディスクやボッチャの対戦をしたところ、子どもチームが見事優勝！

障がいのある人もない人も、ともに楽しめるスポーツをとおして、いきいきと交流を深めています。

※社協は、障がい者スポーツ用品の貸出により、「ム〜の会」の活動を支援しています。

高齢者福祉関係



うさぎとかめ……………高齢者疑似体験
 グリーンの会……………高齢者施設の買い物介助
 給食A……………ディサービスの給食作り
 給食ボランティアさくら……………ディサービスの給食作り
 調理ボランティアすみれ……………ディサービスの給食作り
 ヤグルマソウ……………高齢者施設での化粧ボランティア
 介護ボランティアドリーム……………買い物介助
 NPO 法人 わたぼうし……………在宅高齢者の日常生活支援
 傾聴ボランティアだんぼ……………『傾聴サロン笑桜会』の運営



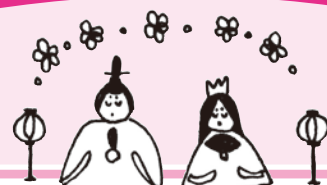
子育て支援関係



大口おもちゃ図書館さくら……………遊びの広場・おもちゃ図書館の運営
 おもちゃ病院おおぐち……………おもちゃの修理
 リトルベアーズ北……………未就園児の子育てサークル
 リトルベアーズ南……………未就園児の子育てサークル
 食育サポート……………保育園での食育活動
 食育サポート南……………南保育園児と農業体験



災害ボランティア関係



D・サポート丹羽……………防災活動
 災害支援ボランティア……………防災活動、研修の実施
 大口絆つなぐネット……………災害復興支援活動

地域活動関係



親話会……………地域安全パトロール
 NPO 法人 矢戸川をきれいにする会……………矢戸川周辺の清掃活動
 オカリナピッコロ……………施設等でのオカリナ演奏活動
 編集ボランティアOZ……………ボランティアの情報発信

■編集後記■ 取材・作成／編集ボランティア OZ

今年の2月11日と12日は、祝日と日曜で、カレンダーでは、赤い色で示されていました。見た瞬間「赤い日2つだから、3連休!」と思ってしまいました。なぜって、いつも赤い日(日曜)の前の土曜はお休みなので、「赤い日の前はお休み」と脳が勝手に都合よく判断したようです。視覚でもものを見るってこういうことなんだと自分に言い聞かせたものの、やっぱり、なまけ心がいっぱいなんだと反省(?)。さあ、4月からはがんばろうと…。

「わたしたちと一緒に活動しませんか」

平成29年3月現在、大口町ボランティアセンターに登録しているボランティアサークルを紹介します。

ボランティア情報局

ボランティア活動保険って?

「どんなときに補償されますか〜?」

傷害事故……………ボランティア活動中の急激・偶然・外来の事故によりケガをした場合に保険金をお支払いします。

- ボランティア活動中に転んでケガをした。
- ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあった。
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。



賠償事故……………ボランティアがボランティア活動中の偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより

- ボランティア活動中、誤って他人にケガをさせた。
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤ってガラスを割った。
- ボランティア活動で後片付け中、誤って他人にケガをさせた。



「どんな人が入れますか〜?」

自発的な意思に基づき、他人や社会に貢献する非営利のボランティア活動をおこなっている個人またはボランティアグループ、特定非営利活動法人(NPO法人)の方々が、加入できます。

「掛け金はいくらですか〜?」

掛け金は年間250円から350円とコースによって違います。

お申し込み、お問い合わせは、大口町社会福祉協議会までお願いします。



障がい福祉関係

音訳ボランティア たんぽぽ……………広報の音訳
 要約筆記サークル スマイル大口……………聴覚障がい者への要約筆記
 大口町手話サークルほほえみ……………聴覚障がい者との交流、手話の勉強会
 大口町手話サークルコスモス……………聴覚障がい者との交流、手話の勉強会
 点訳フレンド……………広報の点訳
 ガイドボランティアあい♡あい……………視覚障がい者外出支援
 なでしこ……………手作り品の製作販売によるハートフル大口への支援
 支援ボランティアなすび〜ず……………喫茶ほほえみ内での障がい者実習支援



『子育てサロンまむ*まむ』の運営

さくらんぼ……………精神障がい・発達障がいをもつ当事者のためのフリースペース「れんげそう」の運営





誤嚥性肺炎とは？

胃液や食物唾液などが気管に入ってしまう、その食物や唾液に含まれた細菌が気管から肺に入り込むことです。高齢者は物を排除する力が低くなっている為、異物が気管に入ったままになりやすく、さらに抵抗力や免疫力が下がり誤嚥性肺炎になりやすいとされています。

肺炎を引き起こすきっかけとなりうる嚥下障害や高齢者に多い誤嚥性肺炎について理解し、予防と日頃の健康管理に役立てましょう。

誤嚥性肺炎の症状

こういう症状がある場合は、誤嚥性肺炎の可能性ががあります。

- 喉がゴロゴロ言ったり、咳・痰・発熱がある
- 普段より元気がない、食欲低下、眠気が強い
- 食事に時間がかかる

誤嚥性肺炎の予防

誤嚥性肺炎の予防には以下のことに注意しましょう。

- 口腔の清潔を保つ
- 胃液の逆流を防ぐ(食後はすぐに横にならず30分～1時間は座位の姿勢を保つのが望ましい)
- 日常生活の配慮(食事の姿勢・咀嚼・嚥下)
- 食事の内容を考える(柔らかいもの、刻んだり、押しつぶして食べやすくする)

～自宅でできる嚥下体操～

口や頬を動かすと、唾液の出がよくなり、飲み込みやすく、食べやすくなります。食事の前準備として行いましょう。

1 姿勢

リラックスして腰掛けた姿勢をとります。

2 深呼吸

お腹に手をあてて、ゆっくり深呼吸します。

3 首の体操

ゆっくり後ろを振り返る。左右とも行う。

耳が肩につくように、ゆっくりと首を左右に倒す。

首を左右にゆっくりと1回ずつまわす。

4 肩の体操

両手を頭上に挙げ、左右にゆくとさげろ。

肩をゆっくりと上げてからストンと落とす。

肩を前から後ろ、後ろから前へゆっくりまわす。

5 口の体操

口を大きく開けたり、口を閉じて歯をしっかりと噛み合わせたりを繰り返す。

口をすぼめたり、横に引いたりする。

6 頬の体操

頬をふくらませたり、すぼめたりする。

7 舌の体操

舌をべーと出す。舌を喉の奥の方へ引く。

口の両端をなめる。

鼻の下、顎の先をさわるようにする。

8 発音の練習

「い・び・ぶ・べ・ぼ」「い・た・か・ら」をゆっくり、はっきり、くり返しいう。

9 咳ばらい

お腹を押さえてエヘンと咳ばらいをする。

口腔ケア www.kokucare.jp

デンタルサポート(株)「はじめよう!やってみよう!口腔ケア」より引用

■お問い合わせ先 大口市社会福祉協議会 ☎(0587)94-0060



大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】大口町NPO登録団体「まみーぽけっと」

【HP】
http://www.geocities.jp/mammypocket2003/index.html

大口町には、いくつかの子育て支援団体があります。普段はそれぞれの活動をしているのですが、「大口町子育て団体連絡協議会」を作り、「親子ふれあい広場」では一緒に支援活動をしています。

親子ふれあい広場

乳幼児をもつ親が日々の子育てに役立つことや、子育てが楽しくなるようなプログラムを用意しています。また、子育て中の親にとって情報の場になることを目的としています。

季節を楽しむ

- プチ運動会
- クリスマスを楽しもう
- 節分

子どもには

- おもちゃ見本市
- 手作りおもちゃ
- アロマで虫除け
- ベビーマッサージ

たまにはママも

- 乳幼児をもつママのためのヨガ
- フラダンス
- ママのためのハンドマッサージ
- ボデーメイクアップ体操
- 姿勢チェック

いのちをハグしよう

開催場所が大口中学校のときがあります。中学生のお兄さん・お姉さんと遊んだり、ハグしてもらえます。

- ★場 所 健康文化センター2階・北児童センター・大口中学校
- ★日 時 第1・3木曜日(祝日の場合は変更)
- ★運 営 NPO法人子どもと文化の森
- ★協 力 子育て団体連絡協議会
- ★連絡先 福祉こども課 94-1222 (詳しくは広報をご覧ください)

子育て団体連絡協議会とは？

「子どもの豊かな育ちや子育て支援活動が充実し、子育てしやすいまちづくりを目指して情報交換を行い、研鑽する」ことを目的に平成21年に町内の4団体が集まり作られました。参加団体は、

- ◆ NPO法人子どもと文化の森
- ◆ クレヨンクラブ
- ◆ 子育てネットワークさくらんぼ
- ◆ まみーぽけっと です。

会長の岩根佐代子さんの話(子どもと文化の森理事長)

それぞれの団体の特色を生かしながら、大口町の子どもや子育てにかかわる活動をしていきたいです。

お出かけスポット

市民四季の森

小牧市大字大草5786-1
TEL0568-78-4554

丘の上の大きなキノコが目印です。子どもから大人まで楽しめる公園で、おススメは、人工芝の丘をすべりおろる「ソリスベリの丘」、総合遊具のある「冒険広場」、ポニーやモルモットとふれあえる「ちびっこ動物園」です。

お弁当を持っていけば、1日ゆっくり楽しめますよ。

開園時間 3月～5月 9:00～18:00
6月～9月 9:00～19:00
10月～2月 9:00～17:00

休園日 毎週月曜日(祝日にあたるときは翌平日)

東日本大震災から6年 大口絆つなぐネットパネル展



健康文化センター1階 町民ギャラリー

大口絆つなぐネット

東日本大震災後の平成23年6月、岩手県遠野市内で震災復興支援ボランティアを派遣する拠点として、ボランティア・行政・社協によって立ち上げられ活動を開始。現在も、ボランティア団体として東北支援を継続しています。

震災から6度目の春。いまだ、2千5百人以上の行方不明者がいること、3万5千人以上の人が仮設住宅で生活していること、ふるさとに帰れない人がいること…震災に思いをめぐらせる3・11を迎えました。「忘れ去られてしまつことが一番怖い。」という被災者や遺族の方々の言葉に、わたしたちは何ができるのでしょうか。社協は毎年、3・11の前後、震災を改めて考える期間として、大口絆つなぐネットのパネル展を開催。被災者の経験を無駄にせず、震災を忘れないための活動を続けています。今年、『震災の教えをつなぐ』と題し、岩手県遠野市社協との災害支援訓練のほか、巨大地震に備える家具固定の大切さを伝えました。



北地域自治組織『福祉の集い』認知症高齢者を地域で見守るために



左より:コーディネーターの福祉部会 後藤氏、パネラーの修文大学准教授、地域包括支援センター、社協、民生委員さん

平成29年1月28日、北地域自治組織福祉部会主催の『第2回福祉の集い』が健康文化センター4階ほほえみホールで開催され、約180名が参加。社協も参加させていただきました。福祉部会では、平成27年度から認知症をテーマとして、研修や医師による講演会を開催。今回はさらに二歩進め、地域で暮らす認知症の人と家族に必要な支援・見守りを考えるため、事例発表とパネル討議が企画されました。事例発表では、認知症の人の介護経験のある家族から、症状への気づきや介護のコツなどを発表。パネル討議では、民生委員さんや相談機関、介護事業所、社協がどのように見守りやサポートをしているか情報交換を行い、地域ぐるみで見守りを考える貴重な機会となりました。

外坪区ふれあいサロン『ほっこり』4周年迎える



外坪区ふれあいサロン ほっこり
 ■日 時: 第2・第4水曜日 9:00~12:00
 ■場 所: 外坪学共 ■参加費: 100円
 ■対 象: 外坪区住民ならどなたでも

平成25年2月にスタートした『ほっこり』が、平成29年で4周年を迎えました。健康生きがい課主催の「地域見守り支え合いを考える会」をきっかけに、社協が立ち上げを支援した地域のふれあいサロン第1号が、『ほっこり』でした。それから4年。当初は手探りのスタートでしたが、いつしか地域の井戸端会議の場となり、喫茶好きのお年寄りも楽しみにする場となり、住民の皆様の手で育てたサロンは、外坪の大切な居場所となりました。2月8日は、45名ほどの住民が集い、手作りの餅入りぜんざいを皆で会食。その名のお餅入りぜんざいとした4周年記念をお祝いしました。



『れんげそう』開催100回超える

心が疲れたとき、人との関わりが得意でない方も、安心してくつろげるフリースペースです。平成24年7月にオープンし、平成28年8月に開催100回を迎えました。精神保健福祉ボランティアや家族会、専門職のスタッフと一緒にお茶を飲みながら、ゆったりと過ごしています。

フリースペースれんげそう
 ■日 時: 第2・第4木曜日 13:00~16:00
 ■場 所: 健康文化センター4階 和室
 ■参加費: 100円

スタッフ
募集中



新サロン『忘れな草の会』

身体に障がいのある方が気軽に集えるサロンが、平成29年2月から新しくふれあいサロンに加わりました。障がいのある方が、ボランティアと一緒にお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、手芸をしたりして、楽しい時間を共有しています。

忘れな草の会
 ■日 時: 毎月2回~4回水曜日 9:00~16:00
 ■場 所: 健康文化センター2階または4階
 ■参加費: 50円



『オレンジカフェ・大口』2周年

どなたでも参加でき、介護相談や介護予防もできる集いの場としてスタートしたオレンジカフェが、2周年を迎えました。歴史民俗資料館の生活用具を使い、昭和のなつかしい思い出を語り合う回想法が、脳への刺激になると好評。毎回楽しみに通ってくださる方が増えています。

オレンジカフェ・大口
 ■日 時: 第3木曜日 13:30~15:00
 ■場 所: 大口町生きがい活動支援センター
 ■対 象: 介護に関心のある方、地域住民どなたでも
 ■参加費: 100円



『傾聴サロン笑桜会』4周年

世間話や愚痴・悩み…誰かに話すとスッキリすることはありませんか? 傾聴ボランティアが丁寧にお聴きします。笑桜会は、医療・福祉の現場経験があるスタッフを中心に、平成25年にスタートしたサロン。いつも温かい笑い声に包まれています。

傾聴サロン笑桜会(わらおうかい)
 ■日 時: 第3火曜日 13:00~15:00
 ■場 所: 老人福祉センター 憩処さくら屋
 ■対 象: 地域住民どなたでも
 ■参加費: 100円

スタッフ
募集中

平成29年度

心配ごと相談所開設日程

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

●母子父子自立支援相談(原則第1水曜日※一部変更あり)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のための相談。女性の母子自立支援員が対応します。

●女性相談(原則第1・3水曜日 ※一部変更あり)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性のための相談。女性相談員が対応します。

●高齢者・障がい者の弁護士相談(第4水曜日)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごととの相談にのります。

※弁護士相談は完全予約制です

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

お問合せ・予約受付:

社会福祉協議会 電話 94-0060



内容 月	母子自立支援相談 女性相談 10:00~15:30	女性相談 10:00~15:30	高齢者・障がい者の 弁護士相談 13:30~16:30
4月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
5月	10日(水)※	17日(水)	24日(水)
6月	7日(水)	21日(水)	28日(水)
7月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
8月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
9月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
10月	4日(水)	18日(水)	25日(水)
11月	1日(水)	15日(水)	22日(水)
12月	6日(水)	20日(水)	27日(水)
1月	10日(水)※	17日(水)	24日(水)
2月	7日(水)	21日(水)	28日(水)
3月	7日(水)	28日(水)※	28日(水)

(※)原則週の水曜日から日程が変更されていますので、ご注意ください。

地域住民の方へ貸し出します!

自動車・車いす等貸出サービス

福祉車両(軽自動車)・普通自動車



自動車の貸出

- 利用条件**
- ①送迎を利用する方が大口町に居住すること
 - ②貸出車両の保管場所を確保できること
 - ③運転手を確保できること

- 貸出車種**
- ①車いす利用の方に対する貸出車両は、車いす専用自動車
 - ②ふれあいサロン送迎・生活支援サービス等の地域の活動に対する貸出車両は、車いす専用自動車または普通自動車

貸出回数 原則月2回まで

利用料金 利用料 1回300円(ふれあいサロン送迎は利用料無料)
利用料に加え、走行距離15km未満200円
走行距離15km以上10km単位200円

貸出方法 事前に電話等で予約が必要。貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、健康文化センター正面玄関前で貸出車両をお渡しします。原則8:30~17:15の間に貸出、当日返却。

普通型車いす



松葉杖



車いす・松葉杖の貸出

- 利用条件**
- ①利用者が大口町に居住している、または大口町に居住する方の親族等が、大口町に滞在し必要とするとき
 - ②1ヶ月以上の利用の場合は、1ヶ月毎の更新手続きができること

貸出期間 必要に応じて延長可能

利用料金 年間500円(1週間以内は無料)1週間を超える利用は、維持管理費として500円の協力金が必要。

貸出方法 貸出当日、社協窓口で申請書を提出後、その場で貸出品をお渡しします。
※自走式と介助式があります。貸出し可能な在庫についてはお問い合わせください。

貸出サービスについて、詳しくは社会福祉協議会 94-0060までお問合せください。